

日本建築学会関東支部 住宅問題専門研究委員会 連続シンポジウム
これからの東京の住宅地を考える 第1回

住宅被災と原発避難，茨城県における避難者への支援課題

茨城県では，東北3県について住宅被害が大きく，加えて原発事故により居住地が広範に放射能で汚染された。住宅被害が集中した地区では，地区の半分の世帯が避難しているところもある。他方，放射能被爆から逃れるために，県外へ避難している人も少なくない。その数は合わせて，数千人以上にのぼるとみられる。住宅被害地区における住宅被害状況と被災者の再建計画，県外避難者の避難状況について，これまでの調査結果をもとに述べ，支援課題を考えたい。

主催 : 日本建築学会関東支部 住宅問題専門研究委員会

日時 : 2012年12月11日(火) 18:30~20:30

会場 : 建築会館会議室 (東京都港区芝 5-26-20)

JR 田町駅 徒歩5分 <http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>

プログラム :

1. 開会挨拶 露木尚文(株住宅・都市問題研究所 関東支部住宅問題専門研究委員会主査)

2. 講演 乾 康代(茨城大学)

「住宅被災と原発避難，茨城県における避難者への支援課題」

3. 意見交換

コメンテーター 米野 史健(独立行政法人建築研究所)

パネリスト 乾 康代(茨城大学)

モデレーター 渡邊 詞男(一級建築士事務所 METAVORTEX)

定員 : 30名

参加費 : 会員500円 会員外1,000円

申込み : 日本建築学会関東支部 HP <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=331>

問合せ : 日本建築学会関東支部事務局 (03-3456-2050)